

高校生飯島が殊勲星

男女単 加藤、桑田らも2回戦へ

テニス

神戸オープン

テニスのミキアールン神戸オープン(神戸新聞社後援)は2日、三木市のフルボンビーンストームで開幕し、男女のシングルス1回戦があった。男子では、飯島啓斗(相生学院高)が第10シードの畑中啓道(テニスクラブコスバ八尾南)を2-6、6-2、6-1で破る殊勲があった。

前年覇者の加藤乃己(ア・インドアステーション)や、第2シードの佐野紘一(伊予銀行、明石城西高一早大出)も初戦を突破。

女子は第1シードの桑田寛子(島津製作所)や前年覇者の小沢楨穂(CSJ)が2回戦に進んだほか、村上亜利沙(関学大)と加茂亜佳音(神戸松蔭女大)がシード選手を破って勝ち上がった。



男子シングルスで第10シードを破り、初戦を突破した飯島啓斗

ボレーに自信 飯島に新境地

3月の全国高校選抜大会で相生学院の団体優勝にダブルスで貢献した飯島が、シングルスでの進境を示した。第10シードを下し、「シングルスもできないわけではないと思えた」と破顔した。

団体戦を見据えたダブルス練習に専念してきたことで、「ボレーに自信が出てきた」と飯島。シングルスでの戦術の幅が広がるという副産物があった。この日は相手のラリー力に苦しんで第1セットを失うと、積極的に前に詰める戦い方に転換。184センチの上背からの力強いサーブを生かし、ネットプレーで圧力をかけて主導権を取り戻した。大きな手応えをつかんだ17歳。「相手は全員格上なので、次からもチャレンジャーの気持ちで向かっていく」と力を込めた。

(永見将人)